

薬剤耐性 HIV ウイルス対応に関する Knowledge book 作成キックオフ！
(2023 年 3 月 2 日)

我々 SATREPS プロジェクトの最終目標は、各種研究結果に基づき、ベトナムにおける HIV/AIDS 対策に対する政策提言を行うことにあります。これまでのベトナム側との協力、そしてプロジェクトで行ってきた研究活動からは、現在の、そしてこれからの HIV 対策として薬剤耐性ウイルスにどう対応するか、というトピックが焦点として浮かび上がってきました。長年 HIV/AIDS と闘ってきているベトナムにも当然 HIV/AIDS 診療・治療マニュアルはあり、各種のガイドラインも出されています。ただその中で、薬剤耐性検査、その検査結果を踏まえたレジメン¹変更などはきちんとまとめておらず、これからの課題だということは保健省 HIV/AIDS 予防局（VAAC）からも指摘されてきました。それを踏まえて、プロジェクトでは最終年度になる来年度にかけて、薬剤耐性 HIV ウイルスに臨床現場がどう対応すべきかを「Knowledge Book」としてまとめようと動き始めました。



オンラインでの参加者もいるハイブリッド形式でしたが、在ハノイの方とは直接顔合わせができてとても有意義でした。



Knowledge Book を巡る会議の前には、JICA ベトナム事務所を訪れプロジェクトの進捗と計画を紹介しました。

準備作業は既に始まっていましたが、この日はプロジェクトリーダーである国立国際医療研究センター（NIGMS）・エイズ治療・研究センター（ACC）センター長である岡先生他 ACC の医師の皆さん、そしてその Knowledge Book 執筆者のベトナム側専門家とも顔を合わせる、いわば第一回編集者会議ともいべき会合を、ハノイで行いました。日本側の先生方にも多く参加してもらうのに加え、ベトナム側からも HIV/AIDS 問題の主管当局である VAAC や

¹ 薬剤療法を行う上で、投与する薬剤の種類、用量、用法、治療期間を示した治療計画のこと。



JICA-SATREPS プロジェクト
ベトナムにおける治療成功維持のための“bench-to-bedside system”構築と
新規 HIV-1 感染阻止プロジェクト



プロジェクトのメインカウンターパートの国立熱帯病病院はもちろんのこと、ハノイ医科大学、国立衛生疫学研究所（NIHE）、パスツール研究所からも参加を得て、Knowledge Book の方針をどうしていくか、対象をどう絞るか、どのように網羅的かつ分かりやすく執筆するか、などについて議論が行われました。その中では、臨床現場の参考になるような資料を目指すと同時に、ハノイ医科大学のような教育機関でも参照でき、学生を含めたより広い対象に届くようにしてはどうかとのアイデアも出て、議論は盛り上がりました。

現在ベトナムにおいては薬剤耐性検査が医療保険でカバーされていない、また検査実施機関も限られているなどの課題もあります。ただ、これから更に HIV 治療の効果を高めていくためには、薬剤耐性検査に基づいて適切に治療薬の選択を行うことがとても大切です。さらに一步先のより良い HIV ケアを提供する一助となれるよう、今後も VAAC や、ベトナム人専門家との連携を密にし、臨床現場で役に立つ Knowledge Book を作成することを目指していきます。